

富士見市公民館運営審議会議事録

開催日時	平成27年7月15日（水）午後7時00分～9時00分
会場	鶴瀬公民館 いきいき活動室
出席者	世羅陽一郎 瀬戸 篤 山川亜紀子 田中聰行 中 正美 高橋康子 是永国彦 山本百合子 川端正則 平井光夫 本田和子 尾形忠男 浅見孝志 （以上13人） 鶴瀬公民館長 南畑公民館長 水谷公民館長 水谷東公民館長 鶴瀬公民館事務局担当 （合計18人）
欠席者	秋元富美子 吉川英亨 関根健一
会議次第	別紙のとおり
会議資料	別紙のとおり
会議録確認	世羅陽一郎 委員
公開・非公開	公開（傍聴人0人）
会議内容	
※傍聴希望者がいないことを確認。 議長あいさつ。 鶴瀬公民館長あいさつ。 1、 報告事項 （1） 実施計画（平成28～30年度）の策定について ○鶴瀬公民館長より、「実施計画」の考え方について説明。 次いで、鶴瀬公民館が提出した事業について、一つずつ説明。 ・障がい者の学習機会充実事業：新たに指導者を充実させる為の予算等を組み込んだ。 ・富士見市民大学開設事業：「市民講師育成講座」、「観光学講座」に取り組む予算組み込んだ。 ・公民館施設維持管理事業：LED化により、省エネや明るさの向上を図る。 ・公民館給排水更生事業：老朽化した給排水管を、各館が順次更生させていく。 ・鶴瀬コミュニティーセンターホール舞台機構設備改修工事事業：古くなった舞台機構設備（どん帳など）の修理をしていく。 ・高圧受電設備更新工事：設置後35年経った為、更新工事を行う。 ○南畑公民館長より、実施計画の説明。 ・建物全般（外壁、内装、屋上）の改修に取り組む。 ○水谷公民館長より、実施計画の説明。 ・サロン型公民館推進事業：気軽に集える様々なサロンを計画していく。世話人の研修も予算化。 ・公民館「親の学習」推進事業： ○水谷東公民館長より、実施計画の説明。 ・ふれあいサロンガスヒートポンプ更新工事：設置後16年経ち劣化したため、更新工事を行う。 ・照明のLED化：電気料金や環境への配慮、明るさの向上を図る。	

[質疑・意見等]

田中委員：資料の作り方として、実施計画は3ヶ年なので、各年度にいくらずつ予算化するのかがわかるようにしてほしい(一部のヶ所)。また、鶴瀬公民館が出した資料と水谷東公民館が出した資料に一部だぶりがあるので、その旨但し書きした方がよい。

鶴瀬公民館長：鶴瀬公民館が公民館全体を見ていくという位置づけのためこのように整理した経過があるが、今後は資料作りの課題としていきたい。

議長：LEDは、エコで長持ちする。各館がLED化の方向で対応を取ろうとしていることは、良い方向だと思う。

鶴瀬公民館長：LED化は、順次対応していきたい。特に、一部の照明器具は今後生産されなくなる方向にもあるため。

議長：冷暖房等に関しても、LED化同様にとらえていただき、エコや予算を上手に使うという観点で予算化してほしい。

(2) 6月定例議会について

鶴瀬公民館長より、6月定例議会において行われた公民館関連の一般質問について、報告と説明を行う。

一般質問を行った市議会議員は、加藤久美子議員、川畑勝弘議員、深瀬優子議員。

[質疑・意見等]

特になし。

(3) その他

最寄りの事業について、各館から報告。

○鶴瀬公民館長より

- ・「ピースフェスティバル2015」を、7月1日～5日までキラリ☆ふじみで行った。

富士見高校の生徒の皆さんの協力は、タペストリー作成や書道パフォーマンスで大きかった。また、戦後70年の今年の特徴としては、「平和の鐘を鳴らそう」、「平和を考えるつどい」に取り組むことができた点であった。

○南畑公民館長より

- ・「南畑ぎゃらりい」を実施した。いろいろな団体が参加し、いろいろな作品が集まってくる。自由な良さは大きいですが、決まりごとがないのが、逆に今後の課題。

○水谷東公民館長より

- ・「やなせ川いかだラリー」について案内。7月19日に実施予定。昨年の5艇から、今年は12艇が出艇予定。小学生のカヤック体験会も開催予定している。
- ・「川の学習会」を「川の探検隊」としてリニューアルした。川に沿って8キロ歩いた。51名の参加で、盛況であった。

○水谷公民館長より

- ・「水谷公民館企画運営委員会」を、6月3日に立ち上げた。同時に、「水谷小学校区まちづくり協議会」も前後してできた。
- ・「歌声喫茶 IN 針ヶ谷」を開催した。
- ・「わいわい楽器発表会」ピアノやギターなど、4種合奏サークル合同演奏会を開催。
- ・今年2月から、「ひとり暮らしサロン」を始めた。最初の企画として、「料理教室」

に取り組んだ。ひとり暮らしの男性の為にもと行い、8品を作った。今後も、おしゃべりだけではない様々なことに取り組んでいきたい。

・「青空学校」を、今年も7月下旬と8月上旬に行う予定。

その他の取り組みとして、「東松島夏まつり2015」への参加の取り組みを、鶴瀬公民館長より報告。

[質疑・意見等]

議長：「やなせ川いかだラリー」の目玉などを教えてほしい。

水谷東公民館長：・新企画として、「小学生カヤック体験会」を予定している。

- ・1～3位に、商品が出る。
- ・出艇数が増えた理由は、昨年見に来た人が今年参加する側になったり、市外の人参加あったり、地域の保育所の保育士さん達が参加してくれたりしたことがあげられる。
- ・また、「スポーツ推進員」の協力は大きい。

2、協議事項

(1) 公の施設予約システムの導入について

議長：公の施設予約システムの導入について、協議にあたっての報告・提案を公民館からお願いいたします。

公民館：公の施設予約システム作業部会での協議事項を報告。特に、利用者にとってのメリット・デメリット等について。メリットについては、パソコンやスマートフォンなどを通じ、いつでもどこからでも空き状況が確認でき、仮予約ができることなどを説明。

いずれにしても、予約システムの導入については、利用者の方たちに見て触れていただくことが大事だと思う。

議長：今の報告・提案に関し、質問などがあつたらお願いしたい。

委員：予約システムへのアクセスは、いつからを予定しているか。

公民館：来年の4月（6月分）からの導入になると思う。

委員：各公民館での、システム端末の設置場所はどこになるのか。

公民館：まだ確定はしていないが、ロビーなどの共有スペースに置くことになると思う。

委員：今の利用者の中で、利用料の支払いに大きな混乱はないが、今後システムの導入以降、キャンセル時の払い戻しはどうなるのか。

公民館：現状でキャンセル時の払い戻しは行っていないし、システム導入以降もキャンセル時の扱いは変わらない。逆にシステム化によりキャンセルで空いた部屋は分かりやすくなり、かえって便利になると思う。なお、返金はできないが、日程を変更することは可能である（変更希望日が利用予定日までに1週間を切っていない場合）。

委員：利用希望日1週間前に仮予約し、お金をまだ支払っていない団体があつたとして、その団体が2～3日前にキャンセルしたとした場合、お金の扱いはどうなるのか。

公民館：支払っていなければ、それはやむを得ない。

委員：変更を希望する場合、どれ位先まで大丈夫なのか。

公民館：2ヶ月先まで大丈夫だが、何度もは変えられない。

委員：集会所へのシステム導入はあるのか。

公民館：今のところ、予定はない。

委員：自動抽選の扱いはどうなるのか。

公民館：「一斉受付」を残す一方で、全て「自動抽選」に全面移行するには、まだ課題が多い。当面は現状維持中心で。

委員：一斉受付日の翌日から、24時間パソコンなどからの入力でよいのか。

公民館：そのとおり。

議長：導入してやってみないと、わからない部分もまだありそう。

公民館：サービスを低下させないためにも、シルバー人材センターを通しての対応が大きな課題になる。

委員：システムのために、手引きを作るのか。

公民館：作成し、誰にでもわかりやすいようにしていきたい。

（2）事業評価について

議長：この議題は、委員からの提案であった。議論のための準備が十分にできていないことから、段取りを取ったうえで、次回の協議としていきたい。

（3）その他

議長：その他何か協議事項はあるか。

委員：特になし。

議長：特に他になければ、以上を持って閉会とする。

次回の開催は、平成27年11月25日（水）、水谷公民館にて行う。